

財政学 期末試験
(50 点満点)
2004 年 7 月 26 日(月) 実施

答案用紙は 1 枚を使用、横書きのこと。持ち込み不可。

1. 以下の文章が正しいければ「正」、誤っていれば「誤」と答えなさい。ただし、「誤」と答えた文章については、正しい文章となるように書き換えなさい。
(各 2 点 : 計 16 点)

- (1) 外部経済が生じている市場では、財は価格と社会的限界費用が等しくなる水準で生産されるため、市場均衡における財の生産量は過小になる。
- (2) 公的年金の財政方式には賦課方式と積立方式があるが、前者には運用リスクが存在し、後者には成長・人口リスクが存在するため、経済状況によって有利な財政方式が異なる。
- (3) 介護保険給付費の財源は公費負担が 5 割、社会保険料が 5 割となっているが、第 2 号被保険者のうちの国保加入者保険料には国庫負担があるため、実質的には公費負担が社会保険料を上回っている。
- (4) 公債依存度（一般会計歳出額のうち一般会計歳入額でまかなわれない割合）は、近年の財政悪化の影響により、平成 16 年度予算案で昭和 40 年度の国債発行以来最高の水準になった。
- (5) 供給曲線が完全に弾力的であり、需要曲線が弾力的である場合、物品税の負担はすべて生産者に帰着する。
- (6) 補償需要の弾力性が 0.5 で税率が 40% の場合、Harberger の公式を用いると、死荷重(dead weight loss)は税収の 10% に相当する。
- (7) (単純な) ラムゼールールでは、税率は補償需要の価格弾力性に比例するため、弾力的な財には低い税率を課すことが、資源配分上最も歪みを小さくする租税構造であるとしている。
- (8) 特定目的定額補助金は、補助対象の事業が割安になるという価格効果が働くため、他の補助金の場合よりも補助対象事業への支出が拡大し、超過負担が発生する。

2. 2 人の個人 1、2 からなる経済に、私的財(x_i : $i=1, 2$)と公共財($G \neq 0$)が存在するものとする。個人 A と個人 B の効用関数がそれぞれ、

$$u_1 = 2x_1 G^2, \quad u_2 = x_2^2 G$$

で示され、私的財と公共財の生産可能性フロンティアは、

$$x + G = 90$$

で与えられるものとする（ただし、 $x = x_1 + x_2$ ）。このとき、以下の問いに答えなさい。ただし、解答にあたっては、計算過程も過不足なく記述すること。

(各 3 点 : 計 6 点)

- (1) パレート効率的な資源配分を示すサミュエルソン条件を導出しなさい。

(2)社会厚生関数が功利主義的な形態をとる場合、最適な公共財生産量と 2 個人への私的財の分配量を求めなさい。

3. 次の 2 つの小問から 1 題を選択して解答しなさい。 (8 点)

(1) ある財の市場の需要曲線と供給曲線が、

$$D = 46 - \frac{2}{3}p, \quad S = 2p - 10$$

で与えられている経済を考える。

いま、この財に対して 20%の物品税を課すとき、以下の問いに答えなさい。

ただし、解答に当たっては、計算過程も過不足なく記述すること。

消費者の支払価格と生産者の受取価格をそれぞれ求めなさい。

政府の税収を求めなさい。

(2) 外部性の存在する経済において、それを「内部化」する手段について論じなさい。ただし、解答に当たっては、順序は問わないが、次に列挙する用語を少なくとも 1 回は用いること。

用語：ピグー税、コースの定理、所有権。

4. 次の 4 つの小問から 2 題を選択して解答しなさい。 (各 10 点：計 20 点)

(1) 課税ベースを消費とすることが望ましいとする論拠について説明しなさい。

(2) 財政赤字が生じる理由を 2 つ以上あげ、それがわが国の現状に当てはまるかどうかを議論しなさい。

(3) 地方交付税制度の仕組みを概説して、その問題点について論じなさい。

(4) 私的財でありながら公的に提供される財が存在する。そのような政府の介入が必要となる理由について論じなさい。

以上